

IT アーキテクト向け Microsoft 365 の Microsoft Teams と関連生産性サービス

Microsoft Teams と関連生産性サービス

Microsoft 365 は、データ ガバナンス、セキュリティ、およびコンプライアンス機能を備えたコラボレーションエクスペリエンスを提供する、互いに連携する生産性サービスのスイートを提供しています。

この一連のトピックは、Microsoft Teamsをはじめとする生産性サービスの論理アーキテクチャを、エンタープライズアーキテクト向けに概説したものです。

ツール



Microsoft Teams

他のサービスと連携してアジャイルなリアルタイムコミュニケーションと共同作業をチームに提供するクライアント インターフェイスです。Microsoft Teams コネクタを使用すると、サードパーティ製アプリやボットとの統合および新しいタブの追加が可能になります。

最適な用途

プロジェクト志向のチームにおける、会話、ファイルでの共同作業、通話、作業を進行しながらの会議。

チームは、公開 (組織内のすべてのユーザーに公開) または非公開 (管理されたメンバーシップ) のいずれかにできます。

Microsoft 365 の強力なセキュリティ機能とコンプライアンス機能を使用して Microsoft Teams で作成されたコンテンツを管理 できます。



OneDrive for Business

個別ユーザー用のクラウド ベースのファイルストレージです。ユーザーは、Microsoft Teams を含むさまざまな場所から自分の OneDrive フォルダーにアクセスできます。

クラウドでのファイルの保存と同期。すべてのデバイスでどこからでも可能なアクセス。進行中の作業や特定のユーザーとの共有に最適です。

ドキュメントは、共有されるまでは非公開です。ファイルを個別に共有し、他のユーザーと同時に Office ドキュメントで作業が行えます。



SharePoint Online

チームやコミュニケーションのための、魅力的で機能豊富なサイト ページを SharePoint Online で直接作成できます。Microsoft Teams 経由でファイルを作成した場合でも、SharePoint サイトで直接作成した場合でも、共通のセキュリティ機能とコンプライアンス機能を使用できます。

コミュニケーション サイトや SharePoint ニュースを使用した幅広いコミュニケーション。

広範囲のユーザーがアクセスできるようにするための、ファイルのクラウド保存。

機密性の高いファイルや極秘のファイルの保存および堅牢なアクセス許可管理、セキュリティで保護されたアクセス、コンプライアンス機能の適用。



Exchange Online と Outlook

メールと予定表。データ損失防止ポリシーおよび分類などを含む、送信中のメールのセキュリティ保護とコンプライアンスを構成します。迷惑メール対策、マルウェア対策、フィッシング詐欺対策、およびスプーフィング対策を調整できます。Advanced Threat Protection および脅威インテリジェンス機能も構成できます。

時間と対象コミュニケーションの管理。

Outlook または Microsoft Teams を使用した、会議のスケジューリングと会議への参加。

保護されたメールの送信。

メールと添付ファイル用の最も高度で包括的な保護機能とコンプライアンス機能を利用できます。



Microsoft Stream

Office 365 のインテリジェントなビデオ サービスです。

動画の作成、安全な共有、および操作をチーム内でも組織全体でも行えます。

ライブ イベントのホスティング。



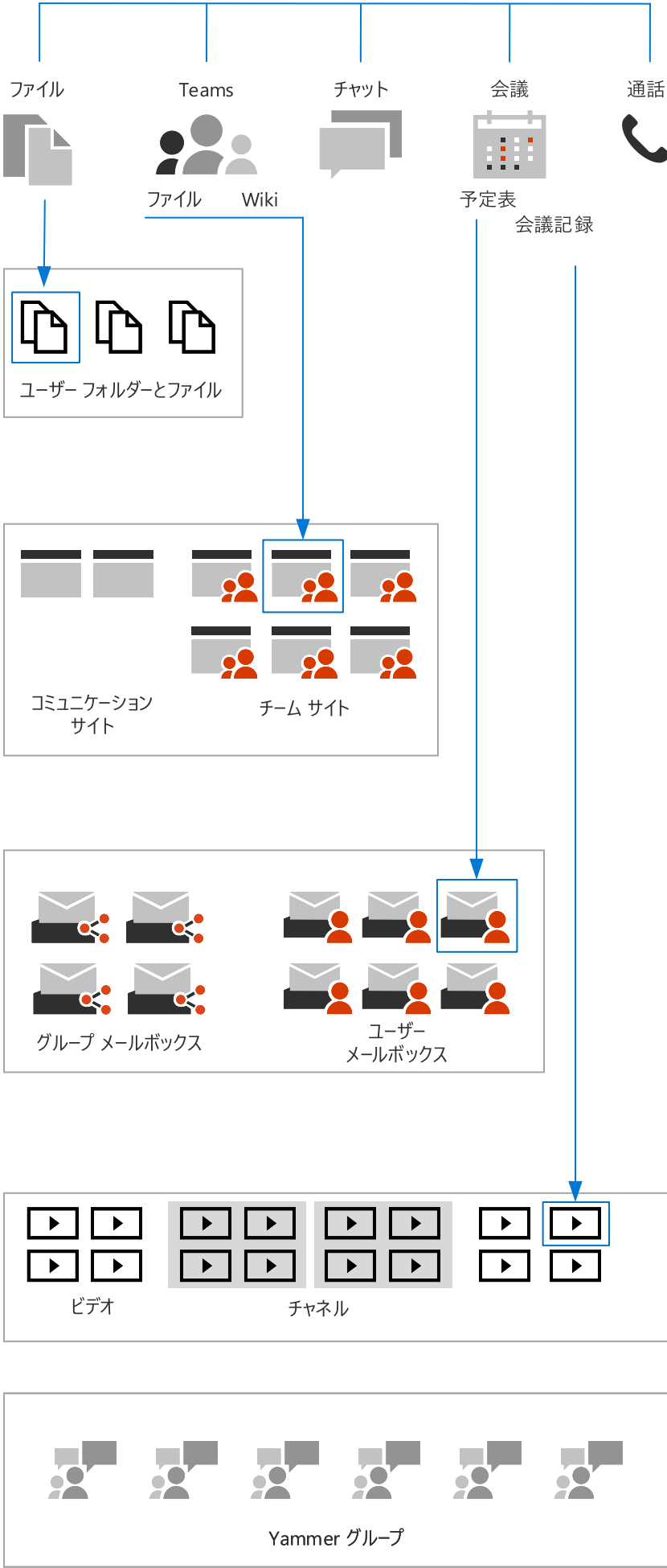
Yammer

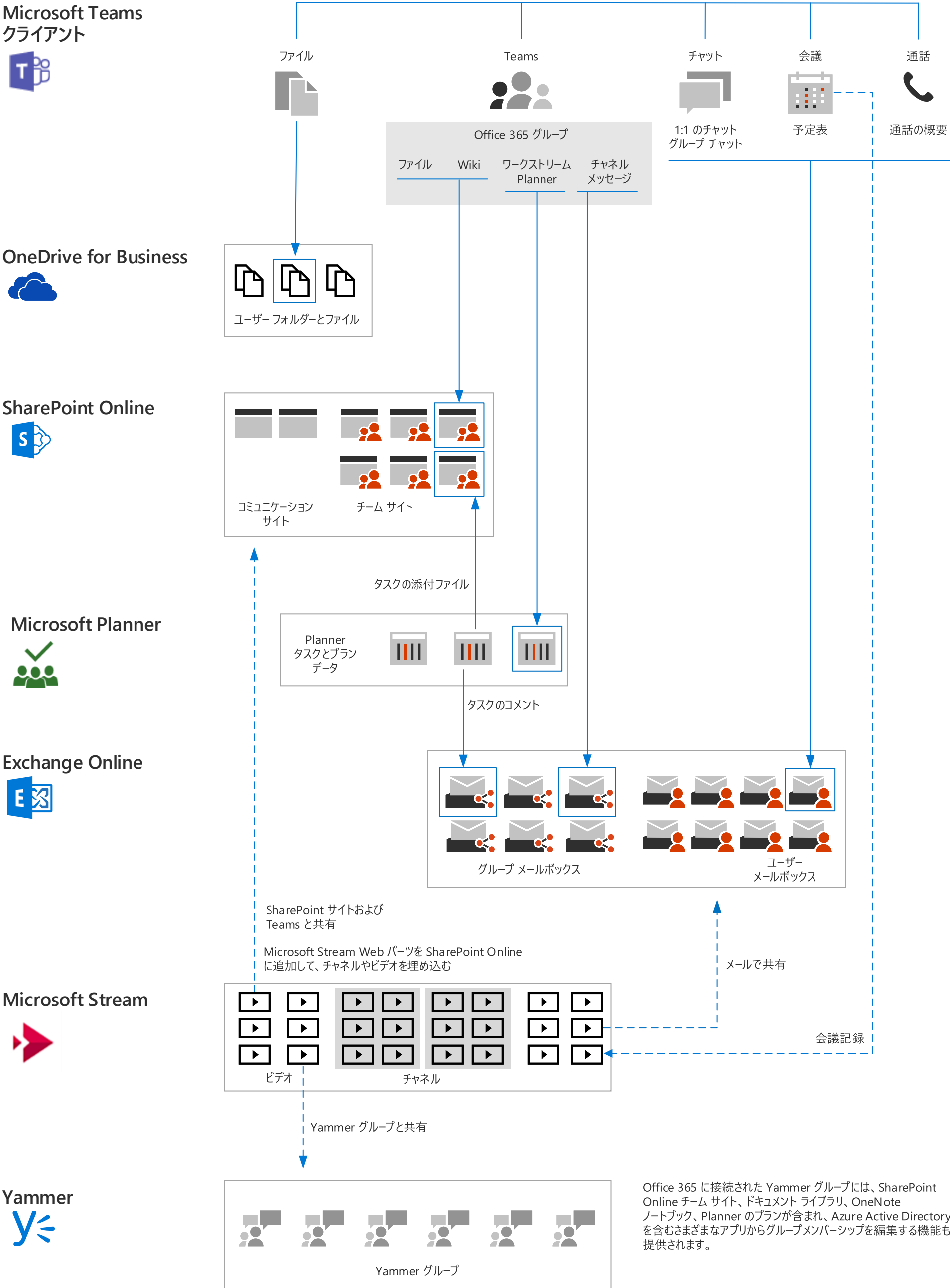
エンタープライズソーシャル ネットワーク サービスです。社内コミュニケーション用に Yammer ネットワークをセットアップします。社外のユーザーと共同作業するには、外部 Yammer ネットワークを作成します。Yammer は他のアプリ (Dynamics CRM、Salesforce.com など) と統合できます。

組織の部署内や部署間の幅広いコミュニティでのアイデアの共有、質問、ディスカッション。

Yammer は、日常的には共同作業を行わないものの、役割、関心、ゴールなどを共有する組織内または組織外のユーザーが組織全体で情報を自由に共有し、専門知識を確保し、アイデア化を行うための理想的なツールです。

顧客、仕入先、パートナー企業を Yammer の外部ネットワークに招待できます。





Microsoft Teams サービスの依存関係

組織では、Microsoft Teams を最初のワークロードとして使用開始することも、Teams を既存の Office 365 テナントに追加することも選択できます。

IT アーキテクトが知っておくべきこと

他の依存サービスより前に Teams の使用を開始する

Microsoft Teams の使用を開始するのに、依存するサービスを有効にする必要はありません。それぞれのサービスは、単体で正常に動作します。ただし、以下を管理する準備ができていする必要があります。

- Office 365 グループ
- SharePoint チーム サイト
- OneDrive for Business
- メールボックス
- Stream のビデオと Planner のプラン (これらのサービスが有効になっている場合)

条件付きアクセス ルールの構成 Azure AD

条件付きアクセス ルールの範囲に、依存するサービスを含めます。

- Microsoft Teams
- SharePoint Online と OneDrive for Business
- Exchange Online
- Skype for Business Online
- Microsoft Stream (会議記録)
- Microsoft Planner (Planner タスクとプラン データ)

詳細については、[「Azure Active Directory 条件付きアクセスのサービス依存関係の概要」を参照してください。](#)

